

水中巡航形態〈フロントビュー〉



水中巡航形態〈ボトムビュー〉



戦闘状態〈アクションポーズ〉



リアビュー



MSM-03 'GOGG'

PRINCIPALITY OF ZEON MASS PRODUCTION TYPE AMPHIBIOUS MOBILE SUIT

©創通・サンライズ

MODEL NUMBER : MSM-03
TOTAL HEIGHT : 18.3m
WEIGHT : 82.4t
TOTAL WEIGHT : 159.4t
GENERATOR OUT PUT : 1740kw
THRUSTER GENERAL OUT PUT : 121000kg
UNDERWATER MAX SPEED : 75kt
MATERIAL : SUPER HIGH TENSION STEEL
ARMAMENTS : FREESEY YARD
MEGA-PARTICLE GUN×2
TORPEDO×2
IRON NAIL×2

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●写真の完成品は、塗装してあります。
●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、グンゼ産業より発売のガンダムカラー（HG「ゴック」用、その他カラーセット）をお使いください。

- 本体：
ココアブラウン (90%)
+ホワイト (10%)
※または、ガンダムカラー
-ブラウン1
- 腕、脚等：
クリームイエロー (70%)
+カーキ (30%)
※または、ガンダムカラー
-オーカー2
- バックパック：
エアクラフトグレー (60%)
+ブルーグレー (40%)
- メガ粒子砲、バーニア：
モンザレッド (100%)
※または、ガンダムカラー
-レッド1
- メガ粒子砲内突起：
ホワイト (100%)
※または、ガンダムカラー
-ホワイト1
- 足首、ヒザ、魚雷等：
ネービーブルー (70%)
+ブラック (30%)
※または、ガンダムカラー
-グレー5

1/144 SCALE

HG
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2000 MADE IN JAPAN

写真の完成品は、塗装してあります。

BAN
DAI

MSM-03 "GOGG"

公国軍は、宇宙世紀0079年2月の「地球侵襲作戦」の決定を待って水陸両用MSの開発に着手した。公国軍が開発した水陸両用MSは、空間及び陸戦用の標準的な機体と比べ、単純計算で2~3倍のジェネレーター出力を持っている。これは水冷構造などを取り入れた新たな冷却システムが開発されたことによって可能となったもので、初期の計画では、06系の機体を改修して水陸両用機として運用するという構想もあったのだが、実際に建造されたMS-06Mザクマリンタイプは、いわゆる水中巡航機として実戦に堪え得るものではなかったため、全く新たな観点から水陸両用MSが開発されることとなり、MSMというカテゴリーが設けられた。第1期水陸両用MSとして開発されたゴッグは、すでにビーム兵器の搭載を達成しており、投入当

初よりその性能を遺憾なく発揮した。公国軍が水陸両用MSを効果的に運用できたのは、海上戦力の展開のかなり初期の段階で潜水艦隊を編成できたからである。ゴッグは、反応炉の冷却システム上の制限により、陸戦での稼働時間は短かったといわれており、本来は単独（あるいはMSのみによる部隊）での運用が想定されていた水陸両用MSの支援装備の開発が急務となった。そこで浮上したのが潜水艦艇とのコンビネーションである。この運用法は、潜水艦の攻撃能力を高めたのみならず、水陸両用MSの展開にも有利に作用し陸上侵襲作戦などにおいて威力を発揮した。

コクピットハッチ

フレキシブル・ペロウス・リム

魚雷発射装置

メガ粒子砲

アイアンネイル

ゴッグの近接戦闘用武装兼簡易マニピュレーターとして機能する。機体運用上、オプションの携行が困難であったため新撃武装の代替案として装備された。実戦においては防御用装備としても非常に有効に機能した。巡航時は腕部が収縮し、肩アーマーと一体化することで整流効果を得ることが可能。

SPEC

型式番号：MSM-03
 頭頂高：18.3m
 本体重量：82.4t
 全備重量：159.4t
 ジェネレーター出力：1740kw
 スラスタースト推力：121000kg
 水中最高速度：75kt
 装甲材質：超高張力鋼
 武装：フリージャーード、メガ粒子砲×2、魚雷×2、アイアンネイル×2

▼フリージャーード 敷設された機雷や爆雷などの信管が作動するのを防ぐ防護装備。頭頂部から射出される弾頭には特殊な高分子化合物が充填されており、射出された弾頭は自機の前方で展開し、海水を取り込んだゲル状の保護膜となって機体を包み込む。万一爆発したとしても、防護幕の作用で機体損傷は軽微で済み、一説には磁気機雷の作動も防護できたと言われている。

▲推進装置 基本的には後の機体と同様、機体各所に設けられたインテークから取り入れた海水を高圧で噴出するハイドロジェット及びロケット、またはウォータージェットによって巡航する。フリージャーード展開中は取水口を閉鎖する必要があるため、可能な限り速やかに機雷原を離脱し、絡めとった機雷などを除去、投棄する必要がある。



▲メガ粒子砲 ゴッグは熱核反応炉の冷却に水冷構造を採用したため、他の機体に先んじてメガ粒子砲を装備することが可能となった。ただし、腹部に二門の固定武装とされたため取り回しが困難であったとも言われている。



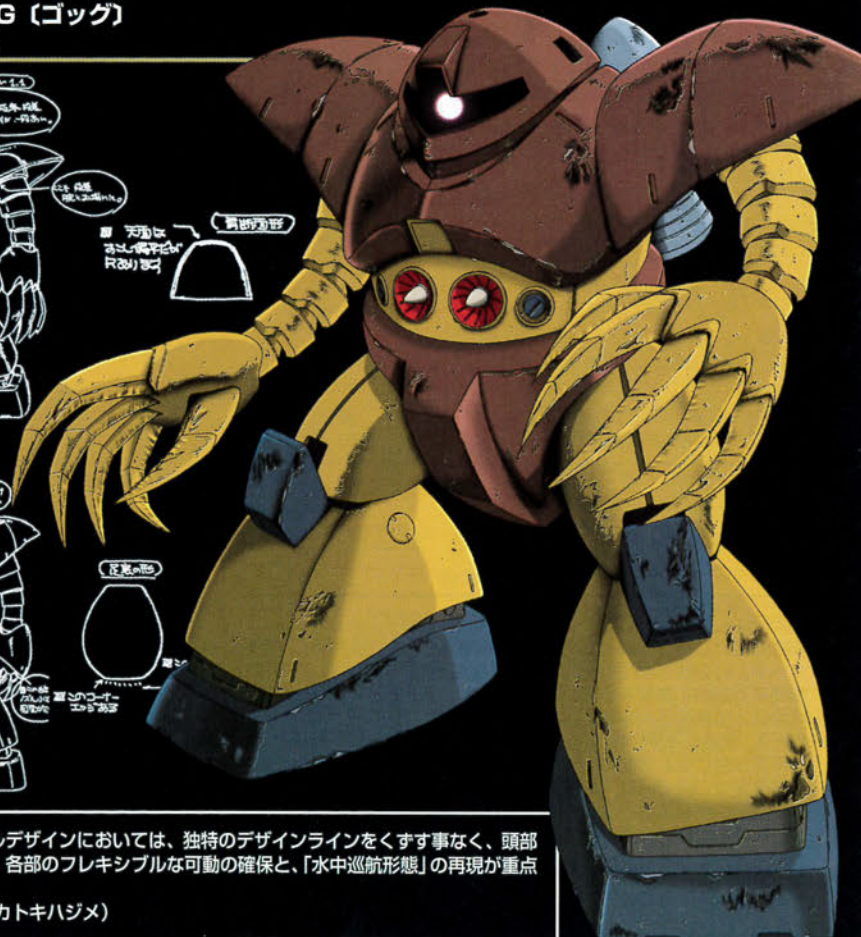
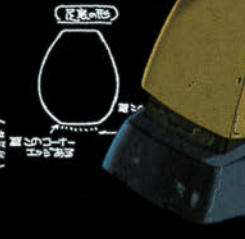
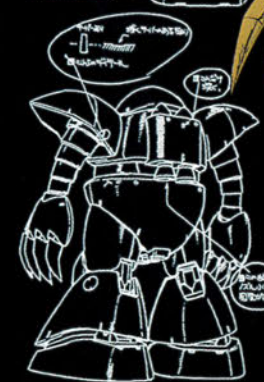
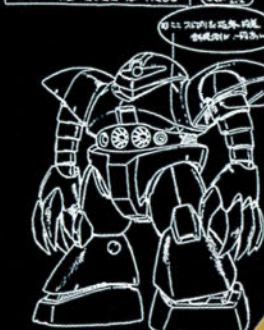
ゴッグ

ゴッグはTV版及び劇場版の「機動戦士ガンダム」に登場した水陸両用MSである。ホワイトベースが地上に降下した後、オデッサ作戦終了後からジャブローへ至る期間、各地で連邦軍の港湾基地や船舶を破壊、撃沈した。ベルファストやジャブローにおいて、ガンダムとも幾度となく戦いを繰り返しているが、実際にはそれ以前から公国軍の上陸作戦や都市攻略などに投入されていたようだ。
 (撮影協力：ホビージャパン)

この商品には、ゴッグ1体以外は入っていません。

MSM-03 GOGG (ゴッグ) デザインワークス

MSM-03 GOGG 機体 H&L (Unit-03)



「ゴッグ」のリニューアルデザインにおいては、独特のデザインラインをくずす事なく、頭部や脚部をはじめとする、各部のフレキシブルな可動の確保と、「水中巡航形態」の再現が重点的なポイントと言える。
 (コンセプトデザイン：カトキハジメ)

注意

必ずお読みください

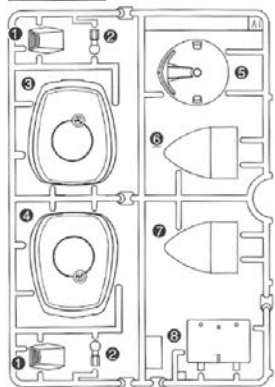
- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。

《組み立てる時の注意》

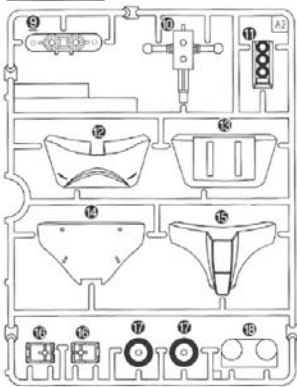
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

パーツリスト

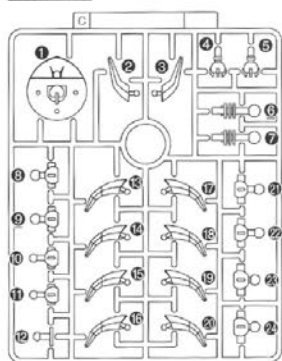
A1パーツ



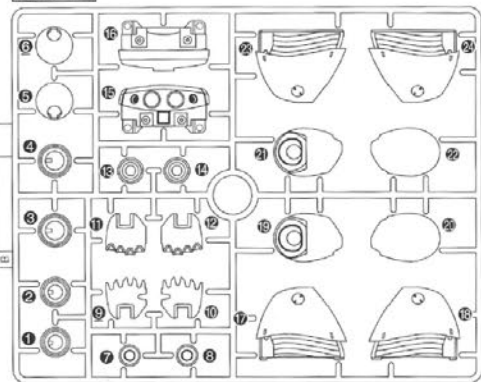
A2パーツ



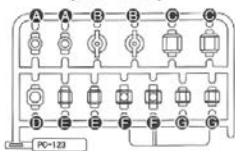
Cパーツ



Bパーツ

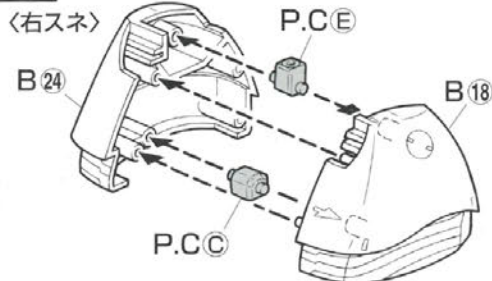


＜P.C-123＞

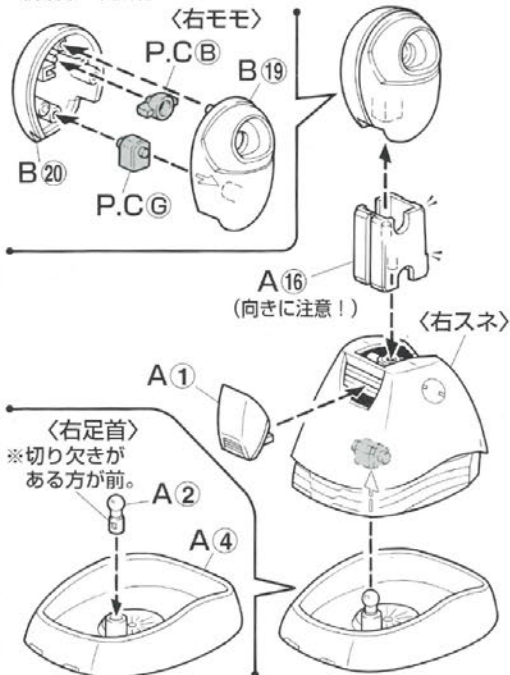


●シール...1

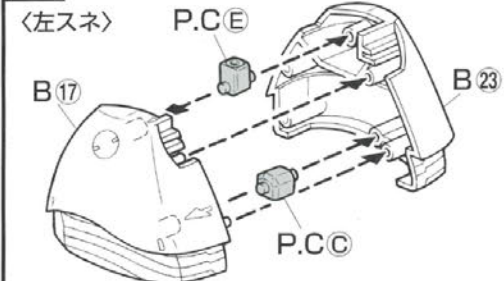
1 《右脚の組み立て》



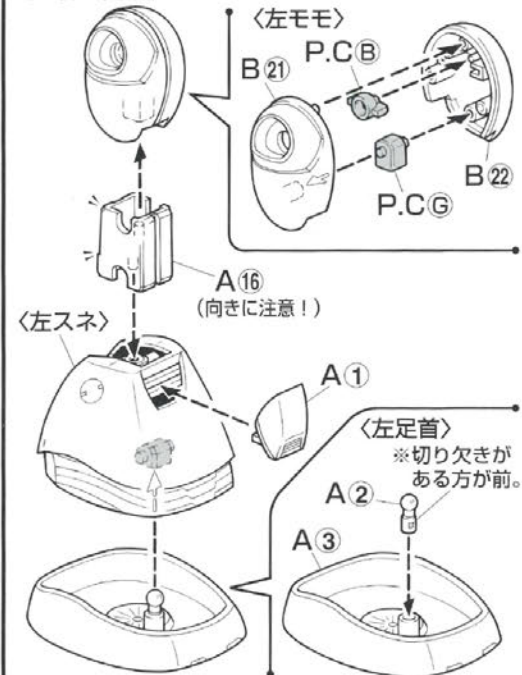
《右脚の完成》



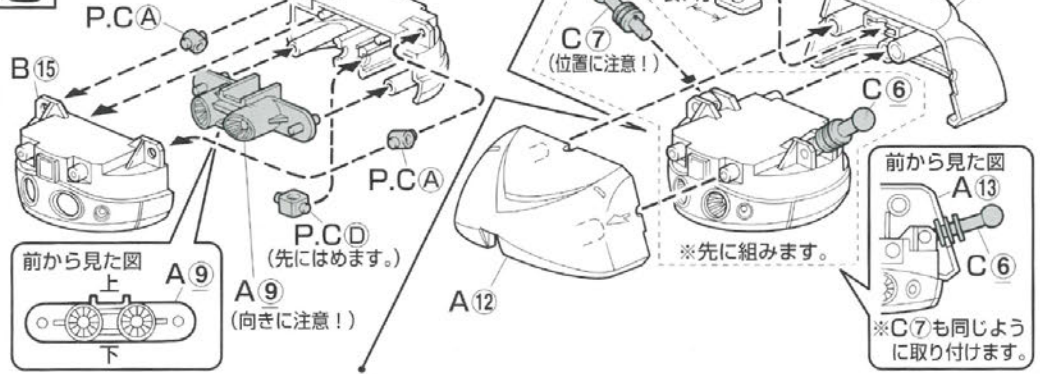
2 《左脚の組み立て》



《左脚の完成》

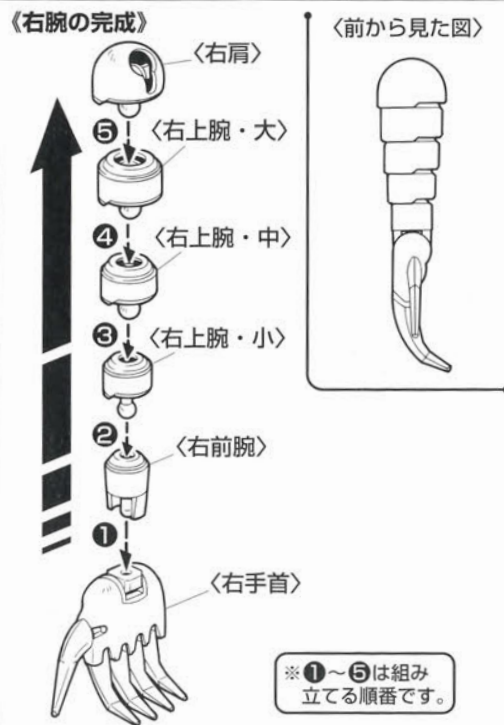
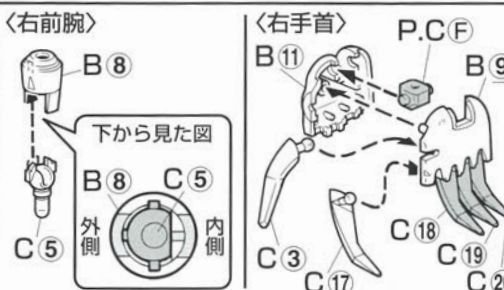
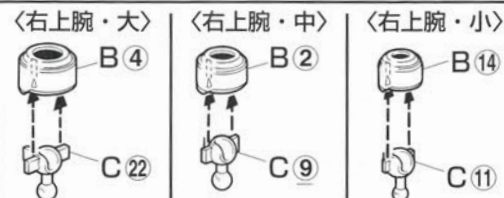
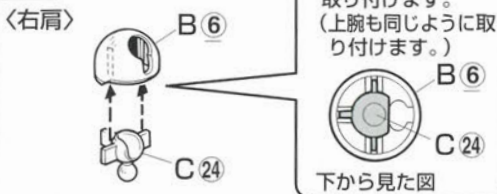


3 《ボディの組み立て》



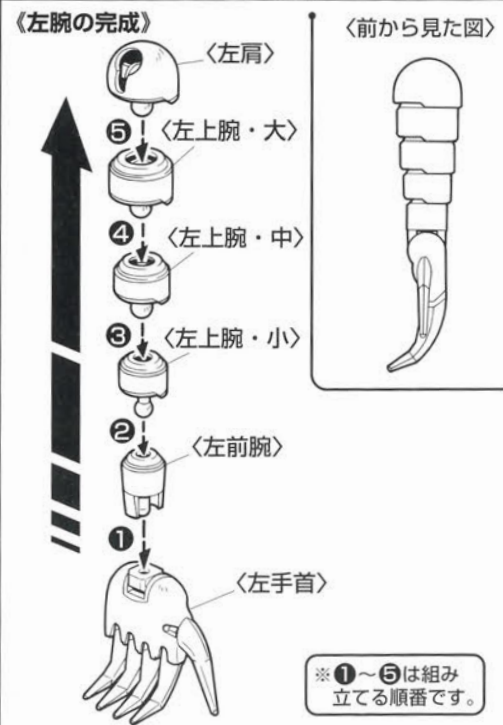
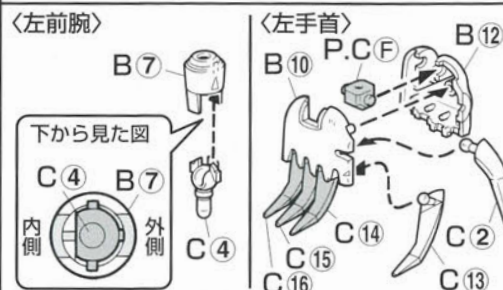
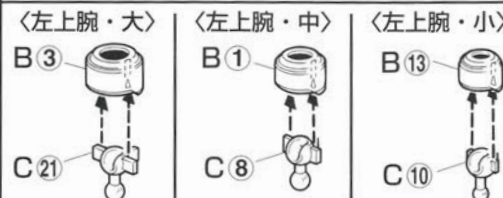
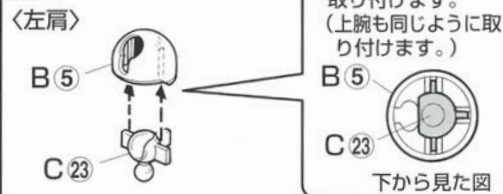
4 《右腕の組み立て》

※C24は、図のように取り付けます。(上腕も同じように取り付けます。)

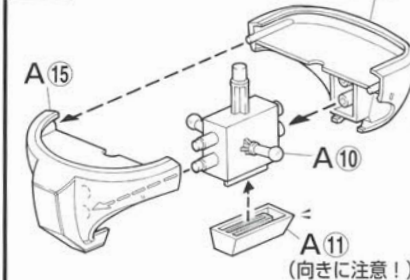


5 《左腕の組み立て》

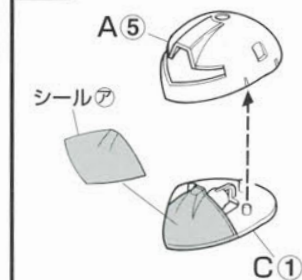
※C23は、図のように取り付けます。(上腕も同じように取り付けます。)



6 《腰部の組み立て》



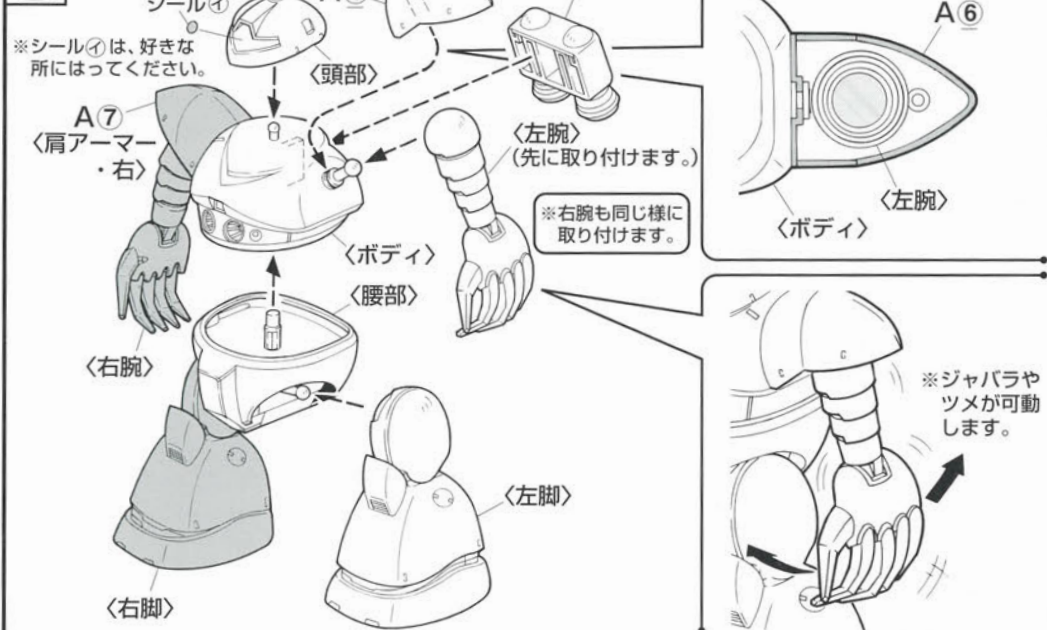
7 《頭部の組み立て》



8 《バックパックの組み立て》



9 《完成》



《水中巡航形態》

